



# 01 環境保全と企業活動の両立を図るデザイン

エコパッケージが企業メッセージ

“Going Green”というスローガンは、もはや日常となった今、ハワイにおいても個人だけではなく、企業の環境問題への取り組みや環境に配慮した商品開発などが活発に行われるようになってきた。

環境保護と「プレートランチ」。この二つはすぐに結びつかないかもしれないが、ハワイの人々にとっては、プレートランチも環境と大いに関係しているのだ。プレートランチとは、丸く盛られたごはん、マカロニサラダ、そしてポークカツやハンバーグなどボリューム満点のおかずが入ったハワイ版お弁当。これまでプレートランチと言えば、白い石油由来の発泡スチロールのパッケージに入っているのが普通だったが、最近では、環境に配慮した容器に切り替える店が増えている。新しいエコパッケージは、さとうきび、とうもろこし、じゃがいもなど植物由来のバイオポリマー製で、ゴミとして捨てられても土に戻る。フォークやナイフ、スプーンなども同様の素材で作られている。

そんなプレートランチのエコパッケージが、プレートランチ店ではなく、ハワイの老舗「シャツブランド「クレイジーシャツ」のウィンドウディスプレイに使われていた。このブランドは、リサイクル素材を使用し、新たな商品としてよみがえらせるエコ・ユニークな商品を販売する、環境意識の高いハワイ企業の一つだ。彼らが再利用素材として使っているものは、ペットボトルからハイビスカスの花びら、古いお札までと大変幅広い。エコパッケージをディスプレイに

使うことで、見る人にインパクトを与えるだけでなく、クレイジーシャツの環境保全に取り組む姿勢を表現、さらにそれを見る人の環境意識にも訴えかけている。

これからの時代は、企業義務として環境保全に取り組む、それらをうまく訴求していくことで企業価値を高め、環境保全と企業活動との両立を図っていかねばならない。今後のハワイ企業の更なる「グリーン」な取り組みに期待していきたい。

